



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE：ドバイ債務問題に関する政府要人の発言

(4月8日付現地各紙)

4月8日付現地各紙は、ドバイの債務問題に対するシャイバーニ氏（ドバイ最高財政委員会副委員長、ドバイ首長府長官、政府系持株会社インヴェストメント・コーポレーション・オブ・ドバイ（ICD）CEO等を兼務）の発言を報じている。概要は以下のとおり。

1. ドバイ政府によるドバイ・ワールド及びナヒールに対する支援95億ドルのうち、ドバイ政府が38億ドルを政府内部で調達する点について、政府はICD等からの多額の配当金等が利用出来、又ドバイ政府はこれまで200億ドル（100億ドル+100億ドル）の政府債を発行しているため（内部調達の可否等については）問題はない。
2. ドバイには、拡大し過ぎた企業に関する問題や、不動産関連の問題はあるものの、これらは小さな問題である。ドバイ政府はこれらに関連する企業を支援する意向であり、十分楽に支援を行っている。
3. ドバイ・ワールドの再構築については、ほぼ9割程度完了している。